

## 持ち込まれた粉じんの分析結果について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
持ち込まれましたサンプルの分析が完了致しましたので、以下の通り調査結果を報告いたします。

### 1. 調査方法について

エネルギー分散型蛍光X線分析装置にて、サンプルを構成している元素の種類と含有率を調査しました。  
炭素に関しては蛍光X線分析では求められませんので、別途、燃焼-赤外線吸収法で求めました。  
なお、測定は、JFEテクノロジー株式会社 分析評価・解析センターに委託しました。

### 2. 調査結果について

図1に顕微鏡で撮影したサンプルの拡大写真を示します。

図1 持ち込まれた粉じんの光学顕微鏡写真

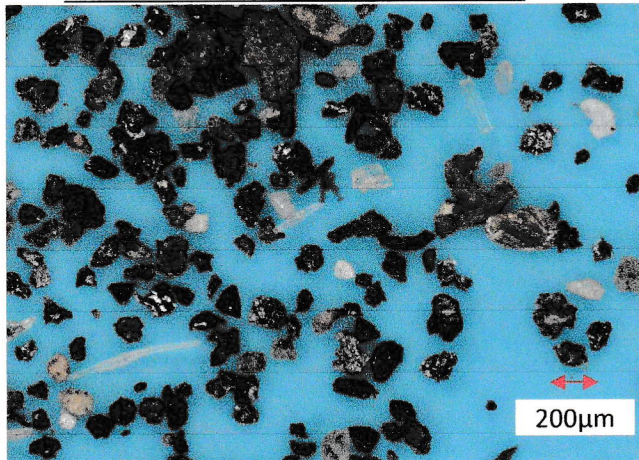


表1にサンプルの成分分析結果を示します。

表1 持ち込まれた粉じんの分析結果

元素	SiO <sub>2</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	C	CaO	その他
重量比	18.0	17.6	6.3	39.0	12.2	6.9

※炭素以外は酸化物換算後の推定存在比です

元素	SiO <sub>2</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	C	CaO	その他
体積比	21.0	8.2	3.9	53.1	8.9	4.8

※重量比から代表密度を用いて計算した推定存在比です

一般的な土壌は、二酸化ケイ素(SiO<sub>2</sub>)、酸化鉄(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、酸化アルミニウム(Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、炭素(C)、酸化カルシウム(CaO)、酸化マグネシウム(MgO)を主な成分としております。一般的な土壌に比して炭素(C)の割合が高く、こちらは製鉄所を含む周辺環境の影響があるものと考えられます。  
弊社といたしましては、今後も粉じん飛散防止に努め、対策を進めてまいります。

以上